

2010年 11月 (2)

号外

(戸塚区版)

定価200円(消費税込み)

年間購読料2400円(送料含む)

民主党プレス民主編集部

東京都千代田区永田町1-11-1

電話 03-3595-9988(代表)

press@dpj.or.jp

http://www.dpj.or.jp

神奈川県第5区総支部版

総支部代表

田中慶秋

日本の元気を取り戻すために

原発、新幹線、 水事業を輸出

田中けいしゅう

経済産業委員会常任委員長

改革を
実行へ。

田中けいしゅう議員が国政報告を行う

戸塚、泉、瀬谷地区で景気、雇用対策、外交、安全保障など国政の現状を説明

田中議員は「厳しい経済状態が続いている中、景気回復の実現めざし予備費の9200億円、そして5.1兆円の補正予算を組んで元気な中小企業、雇用の創出、地域主権の景気対策を進めている。

一方、新成長戦略を打ち出して日本の企業がモノづくりをはじめとした水事業のインフラ整備、世界一安全な新幹線技術、クリーンエネルギーの原発建設など、政・財・官が一丸となった営業活動を開始し、日本の最先端技術を世界に輸出できる環境整備を整え、私が委員長を務める経済産業委員会がその推進役の一翼を担っている」と説明。

さらに「内政、外交とも大変な時期。衆参ねじれ現象を打開し、与野党乗り越えて信頼される日本をつくりあげなければならない。政権14ヶ月、道半ばだが約束を実現に向けて努力を重ね、必ず国民の声に応えていく」と語りました。

「田中けいしゅう国政報告」で直嶋正行前経済産業相が 国挙げて日本の技術売り込むチャンスと強調。



直嶋前経済産業相は「アジア経済の目ざましい成長とは裏腹に日本経済の行き詰まりが続いている。

こんな状態が続けていいわけがない。人口減少社会の中で安心の社会保障制度をつかっていくことは当然だ。財源確保に経済成長は欠かせない。菅総理は強い経済、強い財政、強い社会保障を掲げているが、肝心なのは強い経済をつくりだし成長していかなければならないことだ。昨年10月から始めた新成長戦略の議論は実行段階に入っている。

世界経済はリーマンショックを契機に大きく変わった。アメリカ、ヨーロッパ、日本中心から中国、インド、ブラジルなど新興経済圏がリードする時代に入って、世界の成長センターはアジアになった。これからの日本はアジアの経済成長を取り込んでいくことが大切だ。原子力発電所の供給、道路や鉄道のインフラ、そして水事業などは感謝される」と述べ、「CO2削減に向け一番の技術をもっているのは日本だ。新しい技術で新しい産業をおこしていくことができると、ピンチをチャンスに変えることの重要性などを強調しました。

地域主権フォーラムを開催

11月9日 戸塚公会堂



国政報告と地方主権について語る田中けいしゅう衆議院議員

地域主権の実現で元気な日本を



会場のみなさんと頑張ろうコール

消費税増税を言う前に、真っ先に着手していかなければならないのは税金の使い道の改革です。地方のことは地方で決める。ひも付き補助金を自ら使い道を決める一括交付金へと変え、地域主権によって元気な日本を取り戻していきます。新成長戦略とあわせて、21世紀にふさわしい経済と、年金・医療・介護の社会福祉の充実、雇用の創出で安心、安全な日本をつくりあげていかなければなりません。県会、市会議員が県政、市政報告を行いました。

北井宏昭（県会議員）



決算特別委員会で平成21年度の予算執行がどのように行われたかを確認。問題の表面を直す対症療法から根本をただす原因療法に切り替え、そして市町村がやるような仕事は県や国がやらないように。また、行政のチェック機能を果たすための地方議員の調査権の確立。子どもの問題はすべて大人の問題ととらえ、青少年保護育成条例の改正。元気・長生き・日本一と銘打ち高齢者医療にも取り組んでいる。

そがべ久美子（県会議員）



医療、教育、環境、子育て支援、障がい者支援に力を注いでいる。少子化と安心して出産できるよう、産婦人科病院不足への取り組み。助産院（お産婆さん）への積極的な着目。女医の社会復帰の仕組みづくり。モノづくり産業支援の条例化。ライフワークとして、認知症サポーター、救急医療情報キットの備え、エコキャップリサイクルへの取り組みを進めている。

川辺よし男（市会議員）



横浜市が国に納めた税金のうち24.7%しか戻ってきていない。100%戻れば戸塚が置きざりにされることはない。税制の仕組みを直していくことが民主党の考える地域主権。戸塚は横浜副都心としての西口再開発が完成間近だが、市民の目線で何をやるべきか、希望に添った地方自治ができるようにしていきたい。国会での田中けいしゅう議員と連携を組み合わせながら、戸塚を成熟した街にしていきたい。

小野かずひろ（青年対策部長）



水とみどりをキャッチフレーズに活動。蛇口をひねればあたりまえに水がでる。日本では普通のことだがこんな国は他にはない。命の水もゲリラ豪雨となって戸塚で被害がでている。水と森の循環が生態系を守る、このようにいつまでも循環していくような社会をつくっていった。階段の段差、信号の待ち時間など毎日、日常で起きる小さなことを一番大事に一番最初に考えていく。より良い社会を目指して政策にいかしていきたい。